

平成 2 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立西中学校

平成 2 7 年 5 月

平成 2 7 年度

「運営に関する計画」 (添付書類)

- ☐ 週時間配当及び日課時間表
- ☐ 校務分掌
- ☐ 学校行事予定表
- ☐ 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状
- ☐ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状
- ☐ 児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

大阪市立西中学校

平成 2 7 年 5 月

平成27年度 学校教育目標

すべての生徒に確かな学力と健康・体力を身につけさせるとともに、豊かな人間性や創造性を育む教育活動を推進する。

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

学力面でみると、「全国学力・学習状況調査」において、国語 A・B、数学 A・B とも、全国平均を下回ってはいるが、平成 24 年度調査にくらべて、教科によって違いはあるものの、平成 25 年度、平成 26 年度と、差が約 2～10P 縮まってきており、これまでの学力向上に向けた各取り組みの成果が表れてきている。

数学科での、全学年・全授業での習熟度別少人数授業や、「学校元気アップ地域本部」とのタイアップによる補充学習、資格講座(英検)、ビデオ教材の制作など、学力向上の取り組みを、さらに充実させていく必要がある。

授業の内容の理解については、国語・数学とも 6～8 割の生徒が肯定的な回答をしているが、教科の授業を担当している 21 名の教員のうち、経験 10 年未満の教員が 12 名と半数を超えており、さらに授業力や指導力の向上を図っていく必要がある。

家庭での学習については、平日 1 時間未満の生徒が約 4 割いるとともに、自分で計画を立てて勉強することについては、半数を超える生徒が否定的な回答をしており、自主的な学習の習慣化・定着を図ることが大きな課題である。

また、読書に関しては、「普段まったく読書をしない」という生徒が 5 割強いる。「読書が好きではない」と回答した生徒が 3 割強おり、読書意欲の醸成、読書習慣の形成についても課題である。

学校全体としては、落ち着いた状況で安定した教育活動が実践されており、「いじめを許さない」といった心情については、全国平均を上回っており確実に醸成されている。しかしながら、自尊感情の形成については、普段の学校生活の様子と齟齬のある結果となっており、大半の生徒が「学校で友達に会うのが楽しい」と肯定的な回答をしていること等を基盤として、あらゆる教育活動を通して、「できる喜び」や「達成感」を味わわせる必要がある。さらに、学校・家庭・地域の連携を強化し、体験的な活動を通じて豊かな感性や情操をはぐくみ、人間としてのあり方や生き方を考えることができるよう取り組みを進めていく必要もある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- ① 「全国学力・学習状況調査」における無解答率を平成 24 年度より 10P 減少させる。
(カリキュラム改革関連)
- ② 「全国学力・学習状況調査」における国語・数学 B 問題の平均正答率を、平成 24 年度より、15P 以上向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 家庭学習の習慣化を図り、1 日あたりの学習時間が 1 時間未満の生徒の割合を 1 割未満とする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 各年度、校内でのいじめの発生件数 0 を目指すとともに、認知した場合、解消に向けて対応している割合を 100%とする。
(マネジメント改革関連)
- ② 不登校の生徒を、毎年、前年度より減少させ、不登校生 0 を目指す。
(マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均以上とする。
(カリキュラム改革関連)
- ② 各科検診の中で最も治療勧告者数の多い、歯科・眼科の受診率を 90%以上とする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 教育活動の充実】

- ① 西区内学校選択制が実施される中、3 中学校で最も選択する生徒が多い学校を目指す。
(ガバナンス改革関連)
- ② 授業研究とワークショップ型の研究協議を毎学期実施し、教員の指導力の向上を図る。
(カリキュラム改革関連)
- ③ 特別支援学級在籍生徒の保護者アンケートで、特別支援教育の満足度が 5 段階の平均 4 以上とする。
(カリキュラム改革関連)
- ④ 学校協議会と密接に連携を図るとともに、学校元気アップ地域本部を活用し、学校教育の活性化を図る。
(学校サポート改革関連)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】	
① 「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の無解答率を平成 26 年度より 5P 減少させる。	(カリキュラム改革関連)
② 「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の平均正答率を、平成 26 年度より 5 ポイント向上させる。	(カリキュラム改革関連)
③ 本年度の本校アンケート調査において、家庭学習 1 時間未満の生徒の割合を、前年度(44.5%)から半減させる。	(カリキュラム改革関連)
【視点 道徳心・社会性の育成】	
① 校内でのいじめ発生件数・暴力行為の発生件数を前年度より減少させる。	(マネジメント改革関連)
② 不登校生数：前年度より減少させる。	(マネジメント改革関連)
【視点 健康・体力の保持増進】	
① 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における合計得点を、平成 26 年度より 2P 向上させる。	(カリキュラム改革関連)
② 治療勧告後の受診率を 50%以上にする。	(カリキュラム改革関連)
【視点 教育活動の充実】	
① ホームページの更新回数を前年度より 1 割増とし、西中学校の情報発信を推進する。	(ガバナンス改革関連)
② 研究授業・研究協議の回数を前年度より 1 割増加させる。	(カリキュラム改革関連)
③ 特別支援教育に関する学校・教育委員会への苦情件数 0 を目指すとともに、苦情を受けた場合、対応して解決する割合を 100%とする。	(カリキュラム改革関連)
④ 学校ボランティアの数を 1 割増、学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の充実を図る。	(学校サポート改革関連)

3. 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立西中学校 平成 27 年度 運営に関する計画（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

<p style="text-align: center;">年度目標</p>	<p style="text-align: center;">達成 状況</p>
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 本年度の「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の無解答率を平成２６年度より５ポイント減少させる。（カリキュラム改革関連）</p> <p>② 本年度の「全国学力・学習状況調査」における国語科・数学科の平均正答率を、平成２６年度より５ポイント向上させる。 （カリキュラム改革関連）</p> <p>③ 全国学力学習状況調査における読書時間と家庭学習１時間未満の生徒の割合を平成２６年度よりも減少させる。（カリキュラム改革関連）</p>	

<p style="text-align: center;">年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p style="text-align: center;">進捗 状況</p>
<p>取組内容①【 習熟度別少人数授業の確立 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学において、全授業、習熟度別少人数授業に取り組む。国語科・英語科については、単元内容に合わせて習熟度別少人数授業を行う。 <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）（グローバル改革関連）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内アンケートにおける「教科の授業の内容はよくわかりますか」の項目において、肯定的回答を60%以上とする。 	
<p>取組内容②【 自主学習習慣の確立 】【学校・家庭・地域との連携の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップ地域本部の取組みとして、学生ボランティア等の協力により補充学習を実施し、生徒の自主学習の支援を行うとともに、家庭学習の習慣化を図る。本年度もひきつづきビデオ教材を作成・編集し、生徒の補充学習に活用する。また、英検講習会を通して、英語力の向上を図る。 <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）（学校サポート改革関連）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充学習の参加者を前年度の2割増とする。 	
<p>取組内容③【 読書習慣の確立と言語力の育成 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアの読み聞かせや、図書館オリエンテーション、図書委員会、国語科と連携し、読書習慣を身に付けさせる。全国調査においても、前年度を上回ることを目指す。 <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連）</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査や図書館アンケートなどで読書への意欲・関心・態度の肯定的回答（「読書は好きか」「学校図書館や地域の図書館にどれぐらい行くか」）を向上させる。 	
<p>取組内容④【学校元気アップ地域本部事業の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの増加を図るとともに、ボランティアを活用した学習活動等の充実を図る。（カリキュラム改革関連）（学校サポート改革関連） 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの数の1割増、学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の2割増。 	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
Empty space for analysis
次年度への改善点
Empty space for improvement points

大阪市立西中学校 平成 27 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成 状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ①校内でのいじめ認知件数、暴力行為の発生件数を前年度より減少させる。 <div align="right">(マネジメント改革関連)</div> ②不登校生数を前年度より減少させる。 <div align="right">(マネジメント改革関連)</div>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【道徳教育の推進】 ・生活委員会を中心に朝のあいさつ運動を実施し、自ら進んであいさつをする生徒を育成する。 <div align="right">(マネジメント改革関連)</div>	
指標 ・朝のあいさつ運動を毎日実施する。生活委員会で月 1 回の振り返りを行い、全校生徒にフィードバックする。	
取組内容②【道徳教育の推進】 ・道徳教材（副読本等）を活用した道徳教育の充実を図るとともに、集会等を通して道徳心や社会性を育成する。 <div align="right">(マネジメント改革関連)</div>	
指標 ・指導内容を精選・工夫し、計画的に道徳教育を実施する。 ・全校集会や学年集会を定期的に行い、機に応じた指導を行う。	
取組内容③【不登校への対応】 ・不登校生徒の態様に合わせた働きかけを継続的に実施する。 <div align="right">(マネジメント改革関連)</div>	
指標 ・生活指導部を中心として、月 1 回のケース検討を実施する。	
取組内容④【不登校への対応】 ・遅刻した生徒に対し担任を中心に働きかけ、時間を守ることを指導する。 ・生活委員や生徒会等で振り返り、必要に応じて全校生徒にフィードバックする。 <div align="right">(カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)</div>	
指標 ・遅刻する生徒数を減少させる。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立西中学校 平成 27 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成 状況
【視点 健康・体力の保持増進】 ①「全国体力・運動能力、運動習慣調査」における合計得点を、平成 26 年度よりも 2 ポイント向上させる。 (カリキュラム改革関連) ②治療勧告後の受診率を 50%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【体育科の授業の充実】 ・女子の「上体起こし」を、あと 2 ポイント向上、男子は「長座体前屈」を 2 ポイント向上させるために、補強運動や柔軟運動を取り入れる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ・保健体育科の年間指導計画に位置付け、年間 2 回記録をとる。	
取組内容②【体育的活動の充実】 ・体育大会に加え、各学年で球技大会等を実施する。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ・各学年で 4 時間以上の取り組みを実施する。	
取組内容③【健康な生活習慣の確立】 ・繰り返し治療勧告を行い、受診率を前年度より向上させる。 ・「ほけんだより」等を通じて病気やけがの防止について啓発運動等を行うとともに、毎月の受診内容を知らせる。 ・保健委員会の活動を活発に行い、健康意識の向上をはかる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 ・「ほけんだより」を毎月発行する。 ・学期末懇談ごとに治療勧告を行い、昨年度より受診率を向上させる。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立西中学校 平成 27 年度 運営に関する計画（目標別シート）

年度目標	達成 状況
<p>【視点 教育活動の充実】</p> <p>① ホームページの更新回数を前年度より 1 割増とし、西中学校の情報発信を推進する。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>② 研究授業・研究協議の回数を前年度より 1 割増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③ 特別支援教育に関する学校・教育委員会への苦情件数 0 を目指すとともに、苦情を受けた場合、対応して解決する割合を 100%とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>④ 学校ボランティアの数の 1 割増、学校元気アップの補充学習の時間を 1 割増とする。 (学校サポート改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【学校評価の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者メールによる案内と学校ホームページの充実を図り、学校からの情報発信に努める。特に、本校の特色ある取組や魅力について積極的に発信する。 (ガバナンス改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス件数を平成 26 年度（約 50,000 件）より 1 割増とする。 	
<p>取組内容②【各種研究・研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力の向上に向け、研究授業・研究協議の充実を図る。 (マネジメント改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験 10 年未満の若手教員育成研修会を年 3 回実施する。 	
<p>取組内容③【特別支援教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を保護者参画のうえ、作成する。 (カリキュラム改革関連) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を 100%作成する。 ・毎日、保護者との連携を図る。 	

<p>取組内容④【教育活動のための時間の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティアの増加を図るとともに、ボランティアを活用した補充学習の充実を図る。 (学校サポート改革関連) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校元気アップの補充学習用と家庭学習用の教材の充実を図るため、学校ボランティアの数を1割増加させる。 	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
次年度への改善点